

## 地域の実態

1 小学校 1 中学校という特性から保護者間の協力体制が構築されており、校区の諸機関（校区会館、老人会、校区青少年健全育成協議会等）との連携も緊密である。また、保護者の中には、校区内で活躍している人も多く、良き伝統の継承と地域社会との連携推進が期待できる。

今後、キャリア教育に関わる体験的学習の継続、環境教育、福祉教育の充実等を通して、学校がより一層地域社会に根付いた機関となることが望まれている。

### 【世帯数及び人口の推移】

年度	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
世数	7,051	7,145	7,191	7,277	7,426	7,460	7,441
総数	15,891	15,882	15,859	15,859	15,953	15,810	15,633

令和5年3月1日現在

## 学校の実態

### (1) 学校の沿革

本校は久留米市12番目の中学校として、昭和56(1981)年4月に明星中学校から分離した学校である。青陵の「青」は、東方または春を意味するとともに希望を表し、「陵」は、大きい丘を表す。希望に燃え、一段と大きく伸びていく将来の学校像を求めて命名された。

本年度42周年を迎え、新たな歴史を構築しようとしている学校である。

### (2) 学校の概要

本校区は、近年まで農村地帯で、現在もまだ自然とそこに住む人々の純粹さを残す地域である。また、表1が示すように小規模校で教育区の条件としては望ましい状況にある。生徒は、全体的に温厚で素直であり、学校行事(体育祭・文化発表会等)や諸活動に対して、真面目に熱心に取り組んでいる。

また、地域との交流も盛んで、職場体験学習では、地域の事業所に行ったり、体育祭に老人会が参加する種目を取り入れたり、ペタンクゲームやしめ縄づくりなどを行ったりするなど、長年にわたり取り組んできた。

さらに、隣接している「のぞえ総合心療病院」との交流も定着している。

なお、令和2年度より「のぞえの丘病院」内に児童思春期病棟が開設され、本校に現在3学級が院内学級が特別支援学級(病弱者「虹1」「虹2」「虹3」)として設置された。

【表1】生徒数(※R5.5.1現在)

	1年	2年	3年	特別支援	合計
男	68	47	67	(青葉) 11 (院内) 11	204
女	59	51	45	(青葉) 7 (院内) 7	169
計	127	98	112	18 + (院内) 18	373

※学級数

第1学年…………… 3学級  
第2学年…………… 3学級  
第3学年…………… 3学級  
特別支援学級(青葉4・院内3) 7学級

16学級

## 学校の教育目標

志を抱き、ともに未来を創る「人間力」を身につけた生徒の育成

## 本年度の重点目標

将来の生き方を見据えて主体的に学び、仲間とともに行動を磨くことのできる生徒の育成  
～「凡事徹底(時・場・礼)」、「全力挑戦」、「相手意識」のレベルUP～